

説 教

聖日礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2023年2月5日（日）

主 題：「私のうちには愛する方がいる」

—見える化—

テキスト：第一ヨハネの手紙4章11～16節

はじめに

・おはようございます。

- ・一般的に、私たちは他人を信じることは容易ではありません。
人を信用して印鑑を渡し気軽にサインしたため、大損した方々もいますね。
- ・あるいは、この人は長年知っていて、大丈夫だと思い信用して保証人となり、損害を受けた方もいますね。その背景にはさまざまなエピソードがあります。社会には数えきれないほど多くの人々が、人を軽く信じたために辛い思いをした方々がいることも事実です。とても心が痛みます。

- ・皆さん。私たちのこのような社会において、会ったこともない人、見たこともない人を信じることはさらに難しいことです。そこで、神がおられると聞いても、肉眼で神を見ることはできません。ですから神を信じなさい、と言われても簡単には信じられないものです。

『例 話』

- ・人類最初の宇宙飛行士となったソ連のガガーリン少佐は、地球に戻りこのように言いました。「宇宙でどこを見ても、神はいなかった。」当時、私は彼が手をかざして神を探している姿の大ポスターを見ました。
- ・当時のソ連は、ガガーリン少佐のポスターを国家のプロパガンダとして用いていました。
- ・今の時代でもそうですが、いつの時代でも、私たちは確認できないものを信じることはできないものです。
- ・ところで、天地の創造された神を肉眼で見た人はいません。それでは神は実在されないのでしょうか。いいえ、創造神はおられます。神はご自身が存在されるお方として、さまざまな方法をお持ちです。
ヨハネは次のように述べました。 [第一ヨハネ4：12](#)

4:12 いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。

- ・ヨハネは、私たちが互いに愛し合うならば、神の愛が私たちのうちに全うされる、と言いました。すなわち、そこに神を見るようになると言いました。
 ➡神の「見える化」が実現するのです。そこには神の「愛の流れ」があります。

今日、私たちは見えない神を見る、ということを考えてみましょう。

大切なポイント

1. 兄弟愛に現れる「神の見える化」

- 4:11 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちが愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。
- 4:12 いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。

1) 神の愛の流れ

- ・私たちは神を直視することはできませんが、ヨハネは兄弟愛を実践するところに、神を見ることができると、と述べました。私たちは神に愛された者ですから、愛することができます。つまり、ここに「愛の流れ」があります。
 - ・「神の愛の流れ」：
 - ① 愛は神から出て私たちへ
 - ② 愛は私たちから兄弟へ流れて
 - ③ 愛である神が「見える化」する
 - ・ヨハネはこのようにして、神を見ることができると述べました。そして更に、神が私たちが愛してくださった愛の目的が、私たちのうちに「全うされ」ていくのです。
- 4:12 いまだかつて神を見た者はいません。私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにとどまり、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。
- ・愛は神の本性です。神の本性が私たちのうちから現れるのです。なんという幸いではありませんか。初代教会時代、ヨハネはじめ多くの聖徒たちが「神の見える化」を経験しました。

2) キリスト者の歩み

- ・ヨハネはキリスト者の歩みについて述べました。

2:15 あなたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。

『例 話』 変えられたキリスト者

- ・神を信じクリスチャンとなった人の一番大きな変化は、価値観が変わったことではないでしょうか。それまで楽しみとしていた事柄に、あまり関心が向きません。それよりも、もっと価値あるお方（イエス・キリスト）にお会いしたからです。皆様はいかがでしょう。
- ・こんな話を聞きました。日本のある田舎の教会のことでした。小さい町ですから、誰が誰であるかすぐ分かるぐらいです。従って、出会う人に無意識に強い印象を与えていました。その町である若い女性が教会に来て、クリスチャンとなりました。
- ・するとある人は、「俺のような者にも挨拶してくれるようになったもんな」と、その娘さんに起こった変化に驚いていました。またある日、知らないおばあさんが教会に来て「キリストの神様に供えてくれ」と言って、お茶の包みを差し出してくれ多そうです。
- ・その人の近所に住む人がクリスチャンになって、愚痴を言わなくなったのを見て、キリストの神様はさすが違うと感じたそうです。
- ・これらは皆、幸いな証しとなり町の人々に好印象を与えました。クリスチャンの歩みには色々あると思いますが、何よりもキリストの香りが放たれるような歩みこそ、証しになると思います。➡「神の見える化」

- ・ヨハネは言いました。

2:15 あなたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。

この言葉の背景には、当時世を愛したクリスチャンがいたことが分かります。クリスチャンと言うけれども、実は世の楽しみから離れられない人がいたようでした。それは証しになりませんでした。

- ・イエスは律法の中で一番大切なことは、「隣人を愛すること」であると教えられました。私たちの近くにいる人を愛すること、それはクリスチャンのファースト・ステップ（第一ステップ）であります。隣人を通し「神の愛が見える化」となることは幸いです。

- ・ヨハネは、私たちは神から尊い愛を受けた者であると強く語りました。そしてそればかりか、イエス・キリストがうちに居てくださり、「神の見える化」と言う立場に置かれていると強調しました。

➡ キリスト者の特権

2. 信仰告白のうちに現れる「神の見える化」

1) 信仰の告白

- ・ 4:15 だれでも、イエスが神の御子であると告白するなら、神はその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまっています。
- ・ 見えない神が、私たちのうちに見えるようになります。それは神の祝福であり、神の願いでもあります。
見えないお方が見えるようになる秘訣は、イエスをキリスト（メシア）と言い表す「信仰告白」にあります。信仰を真に告白することは「神の見える化」となります。そしてそれは「行動」となって行きます。

『例 話』

① 良きサマリア人 ルカ 10 : 30FF

② 財産を貧しい人に与えたザアカイ ルカ 19 : 2FF

これらは、行動を伴った幸いな証しです。

- ・ しかし私たちには、神が見えるような力は全くないことは、自分が一番知っています。そこでヨハネは言いました。
4:13 神が私たちに御霊を与えてくださったことによって、私たちが神のうちにとどまり、神も私たちのうちにとどまっておられることが分かります。
- ・ 御霊が与えられたことにより、できないことが出来るように、つまり「神の見える化」となるのです。 ➡キリスト者の特権

2) 神の愛の見える化

- ・ 3:24 神の命令を守る者は神のうちにとどまり、神もまた、その人のうちにとどまります。神が私たちのうちにとどまっておられることは、神が私たちに与えてくださった御霊によって分かります。
- ・ 初代教会時代、ヨハネはイエス・キリストを見た人でした。そこで次のように言いました。
4:14 私たちは、御父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、その証しをしています。

ヨハネは、神の愛の事実を実際に見て、その証言をつづけました。

その証言を聞いて受け入れ、その結果ヨハネは言いました。

4:15 だれでも、イエスが神の御子であると告白するなら、神はその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまっています。

・ こうして見えない神が。信仰告白する者たちにおいて見えるようになるのです。ここに神の愛の流れがあります。少しまとめてみましょう。

- ① 愛の使信は神から発する
- ② 証言を通しイエスが内住くださる
- ③ 信仰告白となって結実する

・ 「神の見える化」 ➡それは神の栄光が現れることです。そして何よりも、私たちが神の祝福のうちに置かれることです。 ➡キリスト者の特権

ま と め

主 題：「私のうちには愛する方がいる」

—見える化—

・ 今日、私たちイエス・キリストを信じる聖徒には、すばらしいお方がいることを教えられました。私たちキリストにあるものは、実に幸いなものです。

4:15 だれでも、イエスが神の御子であると告白するなら、神はその人のうちにとどまり、その人も神のうちにとどまっています。

・ 15 節の「だれでも」に自分の名前を入れてみましょう。

私たちの生活で、イエス・キリストが「見える化」することを切に願い求めましょう。

* God bless you